

## 令和6年度 第2回北野高等学校運営協議会議事録

1. 日時 令和6年 12 月 20 日 (金)15:50～16:50
2. 場所 校長室
3. 出席者 **【委員】**  
PTA 副会長  
大阪大学量子情報量子生命研究センター特任教授  
京都大学大学院教授  
六稜同窓会事務局長  
六稜同窓会学年理事  
大阪市立新北野中学校校長  
**【事務局】**  
校長、教頭、事務長、首席 2 名、教務部主任、進路部主任、指導部主任、  
記録2名

### 4. 議事次第

- (ア)校長挨拶
- (イ)事務局より報告
- (ウ)協議・意見交流
- (エ)その他

### 5. 議事の経過(敬称略)

- (ア)校長挨拶  
外から見られた現状を聞かせていただき、いただいたご意見を活かしていきたい。

#### (イ)事務局より報告

##### **【校長】**

学校経営計画はほぼ順調に進んでいる。新たな課題もみつかった。新しいことにも取り組んでいる途中である。

##### **【教務部】**

- ・大阪府では新システムへ移行していつている。
- ・今高校入試がデジタル化される。出願や採点などのシステムがデジタル化される。合格発表もオンライン発表、開示請求もデジタルへ移行する。

##### **【進路部】**

- ・共通テスト模試の分析から、例年より基礎力がよくなっている状況。各模試の結果でも2次力もついてきていることもうかがえる。
- ・校内模試検討委員会では次年度以降第2回と第3回を統合する。
- ・放課後などの様子をみても3年生は熱心に取り組んでいるところである。

## 【指導部】

- ・9月水泳大会、10月体育大会、12月文芸祭など学校行事が盛んに行われている。
- ・出席状況からは少し疲れがみえているが、冬休み等リフレッシュして新年がんばってほしいと考えている。
- ・生徒と担任との関係性もできていて、話しやすい環境ができており、学校全体で課題を共有し支えていけたらと考えている。

## (ウ)協議・意見交流

- ・校長先生が来られてからの感想をうかがいたい。私学完全無償化などの制度の変更によることについてなども含めて。〈大阪大学特任教授〉

→私学完全無償化で定員割れしているところがある。所得制限に関する制度変更であるのだが、マスコミの取り上げ方がセンセーショナルである。いろいろな学校が学校説明会等で努力している。公立高校によって志願者の集中度合いが違う。今後調査が進むにつれて落ち着いて行くと考えている。〈校長〉

→北野高校のオンリーワンの部分がたくさんあると感じている。同窓会の取組みなどもあり充実している。課題として感じているのは、私学も一緒になる模擬国連などでは、世界に目を向けている度合いが違っていると感じている。そういう世界があるというのを知らない生徒が多いのでは。同年代の生徒と切磋琢磨していく意識を作っていけたら。〈校長〉

- ・デジタルの採点について。

- ・本校の入試では点数が高いところになっているのでは？〈同窓会事務局長〉

→答案をスキャンして、教員が画面上で採点する。〈教務部〉

→近接した点で合否がわかることはある。〈教務部〉

- ・天体観測などお世話になっている。体育大会の声援もすごかった。素晴らしい見本がとなりにあり、みならっていききたい。デジタル出願についてはミスのないようにしっかりしていききたい。〈新北野中学校校長〉

- ・少し子どもたちはくたびれてきていたり、落ち着きがないように感じている。勉強や部活で頑張っている生徒以外のところで気になるところはある。〈PTA 副会長〉

2年生は科学の甲子園で優勝した。〈校長〉

## (エ)その他

学校への意見書の提出はなし

次回は2月ごろに開催予定